

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 1 区分

【発行日】令和 3 年 4 月 1 日 (2021.4.1)

【公開番号】特開 2019-65841 (P2019-65841A)

【公開日】平成 31 年 4 月 25 日 (2019.4.25)

【年通号数】公開・登録公報 2019-016

【出願番号】特願 2018-123074 (P2018-123074)

【国際特許分類】

F 0 4 D 25/08 (2006.01)

F 2 4 F 7/007 (2006.01)

F 2 4 F 13/08 (2006.01)

F 0 4 D 29/54 (2006.01)

【F I】

F 0 4 D 25/08 3 0 5 B

F 2 4 F 7/007 1 0 1

F 2 4 F 13/08 A

F 0 4 D 29/54 D

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 2 月 5 日 (2021.2.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

正面側に送風口を有し、該送風口にグリルが設けられた送風部を備え、
前記グリルは、複数の送風案内板が渦巻き状に設けられ、
前記複数の送風案内板の前記渦巻きの中心部に近い内端部が、外端部より送風方向に突出し、
前記送風部の前記送風口が円形に形成され、
前記複数の送風案内板の前記外端部に対する前記内端部の突出量が、該送風口の直径の 20% より大きくなるように設定されている送風機。

【請求項 2】

正面側に送風口を有し、該送風口にグリルが設けられた送風部を備え、
前記グリルは、複数の送風案内板が渦巻き状に設けられ、
前記複数の送風案内板の前記渦巻きの中心部に近い内端部が、外端部より送風方向に突出し、
前記送風部は、外面を形成するカバーと、該カバーの内側に設けられた円筒状の風洞部とを有している送風機。

【請求項 3】

前記風洞部の内径は、所定の長さにわたって一定である請求項 2 に記載の送風機。

【請求項 4】

前記風洞部の長さは、ファンの直径の 30% ~ 40% である請求項 2 又は 3 に記載の送風機。

【請求項 5】

前記風洞部と前記グリルが一体成型されている請求項 2 ~ 3 の何れか 1 項に記載の送風機。

【請求項 6】

前記風洞部の内径は、前記送風口の内径と等しい請求項 2 ～ 3 の何れか 1 項に記載の送風機。

【請求項 7】

正面側に送風口を有し、該送風口にグリルが設けられた送風部を備え、

前記グリルは、複数の送風案内板が渦巻き状に設けられ、

前記複数の送風案内板の前記渦巻きの中心部に近い内端部が、外端部より送風方向に突出し、

前記送風部は、外面を形成するカバーを有し、該カバーは球体形状を成す送風機。